

# 川根本町 図書室だより

# 3月

2023年3月号

- ・文化会館図書室(小長井)
- ・山村開発センター図書室(上長尾)
- ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース  
TEL:0547-59-3106(文化会館)  
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

☆ 開室時間:午前9時～午後5時

☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(19日)・祝日の翌日(22日)

☆ やまびこ号巡回コースは



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。  
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

## 新 着 図 書

### 『天路の旅人』

沢木耕太郎 著 新潮社

#### 新たな「旅文学」の金字塔。

文



第二次大戦末期、敵国の中国大陸の奥深くまで「密偵」として潜入した若者・西川一三。敗戦後もラマ僧に扮したまま、幾度も死線をさまよいながらも、未知なる世界への歩みを止められなかった。その果てしない旅と人生を、彼の著作と一年間の徹底的なインタビューをもとに描き出す。

### 『ゲッターズ飯田の五星三心占い 2023完全版』

ゲッターズ飯田 著 幻冬舎

#### 運を味方につける！

山



全12タイプの2023年の「総合運」「恋愛運」「結婚運」「仕事運」「買い物・金運」「親子・家族運」「美容・健康運」はもちろん、気になる相手との相性、命数別2023年の運勢、それぞれの命数の「もっている星」、年代別アドバイス、年間運気グラフ、月間運勢、365日開運アドバイスを完全収録。

### 『老〜い、どん!2』

樋口恵子 著 婦人之友社

#### ヨタヘロ期の過ごし方

文

米寿を過ぎ、90代という本格的な高齢期に入りつつ著者が、衰えながらもできることはないか、喜びはないか、考える日々を綴る。人生相談コラム、坂東眞理子との対談も収録。



### 『もう悩まない耳鳴りに勝つ方法』

山田浩之 著 ヴァンメディカル

#### 10の真実が勝利へのカギ

山

どうして耳鳴りがするの？  
耳鳴りによる苦痛や不安を軽減するにはどうしたらいいの？  
多くの耳鳴り患者を治療してきた耳鼻咽喉科医が、耳鳴りの真実と耳鳴りを克服するための最新治療法などを解説する。



### 今月の 特集

文化会館図書室

## カラダ引き締める

～ 本で学んでより効果的に～



- ・「最強の食事」
- ・「減量の正解」
- ・「科学者たちが語る食欲」
- ・「善玉酵素で腸内革命」
- ・「動かないゼロトレ」他

# ◎ 新着図書

新刊の詳しい情報は、  
【川根本町図書ネット】で検索

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>●『今日はいいい天気ですね。』 群ようこ 著 角川春樹事務所 近所の花店でチューリップを買ってきたり、お腹周りが心配になってきたので遠回りして買い物に出かけたり…。キョウコはささやかな楽しみを見つけながら、月10万円の暮らしをのんびり続けます。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>	<p>●『書樓弔堂 待宵』 京極夏彦 著 集英社 叔、今日はどのようなご本をご所望でしょう。日露戦争の足音が聞こえる明治30年代後半。古今東西の書物が集う書舗に迷える者達が訪れる。書樓弔堂シリーズ第3弾。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>
<p>●『ワンダーランド急行』 荻原浩 著 日経BP日本経済新聞出版 会社をサボり、スーツで山に登った40歳の野崎修作。「日常」に戻ると、街も家も会社も、何かおかしい。どこかで聞いたような疫病が世界を分断し、新宗教の持つ票があらゆる選挙を左右し…。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>	<p>●『ある愛の寓話』 村山由佳 著 文藝春秋 捨てられた猫、恋人の犬、カエルのぬいぐるみ…。言葉は伝わらなくても、わたしは愛している。恋愛文学の第一人者・村山由佳のデビュー30年記念作品。「同じ夢」など全6編を収録。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>
<p>●『世はすべて美しい織物』 成田名璃子 著 新潮社 昭和12年。養蚕農家の娘・芳乃は、嫁いだことで人生が大きく揺れ動く。一方の現代、詩織は機織り工房を唯一の居場所にして…。伝説の織物をめぐり2つの運命が紡ぎ、結ばれる大河長編。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>	<p>●『江戸一新』 門井慶喜 著 中央公論新社 江戸が燃え尽きた「明暦の大火」。この大惨事に立ち上がった老中・松平伊豆守信綱は、町奴・花川戸の長兵衛を「斥候」として使いながら、「江戸一新」に乗り出し…。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>
<p>●『祝祭のハングマン』 中山七里 著 文藝春秋 中堅ゼネコン課長の父と暮らす刑事の瑠衣。父の同僚が交通事故で死亡し、父も工事現場で亡くなった。父は会社に利用された挙げ句殺されたのではないか。疑心に駆られる瑠衣の前に探偵が現れ…。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>	<p>●『戦国十二刻 女人阿修羅』 木下昌輝 著 光文社 長久手の戦いで家康が勝利するまでの24時間、伊達家と最上家を和睦させるまでの24時間…。荒れ狂う世に翻弄された7人の女性たちの濃密な24時間を描いた時代小説。</p> <p style="text-align: right;">小説</p>
<p>●『かみはこんなにくちゃくちゃけど』 ヨシタケシンスケ 作 白泉社 歌手になりたいと願う女の子、続きが読みたいマンガがある男の子…。日常に小さな希望を見つけない。子どもだけでなく、大人も何度も開きたくなる絵本。</p> 	<p>●『ドン・ウッサそらをとぶ』 キューライス 作 白泉社 ウサギの大親分ドン・ウッサの空を飛びたいという願いに、けなげな3羽の子分たちが大奮闘して…。かわいくて、ちょっぴり切ない、新感覚の絵本。</p> 



## 『プレゼント』

スペンサー・ジョンソン 著 扶桑社

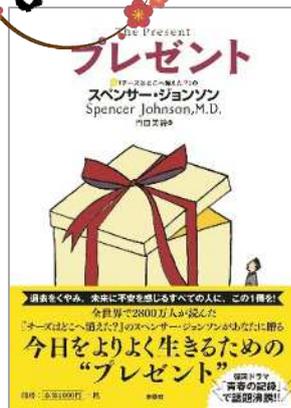
### 時代を越えて受け継がれるプレゼントとは？

物語は若者がある老人から聞きたいちばん大切な“贈り物”の話。この贈り物をもらうと、もっと幸せになり、したいと思うことがうまくできるようになります。誕生日にもらうものとは違うこの『プレゼント』が何か…やがて、若者は探しとめます。

楽しく幸せでありたいと思ってもうまくできない、思考や感情が行き詰まった時この物語は生き方、働き方のヒントになるかもしれません。

この本を通して読み取り感じたことが、あなたへの贈り物です。例えば・私はうまくいかないことが視点を変える為の贈り物と感じたことがあります。そしてプレゼントとは、現在に集中することで余計なことを考えることなく幸せでいられる。過去の囚われや未来の不安ばかりではなく、目的・望みを見て今の瞬間を生きること。今の瞬間は人生劇場の1コマ。この1コマの活かし方探しは生きる醍醐味だと思います。それでは、あなたがあなたへ贈った『プレゼント』を今から、開けてみましょう。

図書室スタッフN子(♡)



文化会館図書室所蔵